

学校 教育 目標	それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部				
	・それぞれが飛べ : 自ら問題を発見し、ねばり強く課題解決に取り組み、心と体を鍛え、自分のよさを見つけ、自分を大切にする子ども ・みんなで翔べ : まちの人や友達から学び、そのよさを見つけられる子ども ・ゆめいっぱい戸部: まちとの関わりを通して、広い視野をもち、まちと共に生きる子ども				
学校 概要	創立 140 周年	学校長	柳澤 潤	副校長	猪熊 憲一
	児童生徒数: 363 人	主な関係校: 老松中学校・東小学校・一本松小学校			
		2 学期制		一般学級: 12 個別支援学級: 3	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	老松中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		・必要な基礎学力を身に付けながら学習への興味・関心をもち、学び続ける姿勢を身に付けた子ども。基本的な生活習慣を身に付け、他者への思いやりや礼儀をもった子ども。 ・基礎・基本の定着を図るとともに、自主的に継続して学ぶ習慣を身に付ける取組として、読書の時間やスキルタイムを設定する。 ・ブロック小・中学校授業研究会を行い、研究協議で相互の指導やカリキュラム・マネジメントについて情報交換する。 ・年間を通して挨拶運動の実施や挨拶当番を設置し、挨拶の励行をする。
<夢をもち、夢を実現する力>		
老松中学校 東小学校 一本松小学校		

中期 取組 目標	「子どもが主人公の学校」
	○子どもたちが自立心・自律心をもち、自分たちの力で成長しよう・安心して豊かに成長しようとする「子どもが主人公の学校」を目指します。 ○友達や地域の人・自然・施設などと積極的にかかわり、「まち」とともに歩む学校をつくります。 ○保護者、地域、教職員との学び合い、関わり合いを大切に、子どもたちの豊かな心を育む教育を推進します。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	◇基礎・基本の定着を図り、身に付けた力を活用した豊かな体験や学び合いにより、自ら問題解決する力を高める。◇教育的支援が必要な子どもに対応する指導を、授業中に発揮できる授業力を身に付ける。◇重点研究や放課後における研修・研究時間を確保し、授業研究を中心とした実践的な研修・研究を行う。
担当	推進委員会
豊かな心	◇縦割りの「とべフレーム」を中心に、1年生を迎える会、集会、全校遠足、とべとべスポーツフェスティバル、交歓給食、掃除等を推進する。・えがお会議、私たちの道徳活用等による地域・保護者と連携した道徳の時間を充実する。◇戸部・愛隣幼稚園を中心に交流を深め、豊かな心を育てる。・コンサート、読書等を通して情操教育の充実にも努める。
担当	人権福祉教育部
健やかな体	◇スポーツ委員会が企画するリズムダンス集会や長縄集会、マラソン週間等を通して、一人ひとりの体力向上を目指す。◇学校保健委員会を通して、心と体の繋がりに関して学び、心身ともに健康な子どもを目指す。◇保健や特別活動の学習を通して、子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。
担当	体育部
特別支援教育	◇保護者や関係機関との連携の仕方や、個に応じた教材作成について、校内研修などを通して教員一人ひとりが、特別支援の視点を身に付ける。◇基礎学力を身に付け、一人ひとりが自信をもって学習に取り組めるよう取り出し指導やTT指導の充実を図る。
担当	特別支援教育部
児童生徒指導	◇全校で子どもたち同士が関わる際は、子どもたち自身で雰囲気づくりができるように、その意義と良さを日頃から指導する。◇あいさつや返事をする大切さを、朝会やあいさつ運動等で継続して指導する。◇授業や生活上のルールを「戸部小スタンダード」として、職員間で共有し、子どもと確認する。
担当	児童指導部
地域連携	◇学校文化となっている保護者・地域との協働による特色を生かした教育を継続し、充実した教育を推進する。◇学校だよりやHPなどにより、教育活動の発信に努める。◇各行事のアンケートや学校評価アンケートを通して、学校経営の評価を適時行う。◇PTA、学校運営協議会、共有倶楽部との連携をさらに深める。
担当	教務
自分づくり (キャリア教育)	◇どの学習においても、地域や人とかかわりながら探究的な学習を意識して行い、他者とかかわりの中で、一人ひとりが自己有用感を高められるようにする。◇とべフレームや学級での活動の中で、学年に応じた自分の役割を意識して学んだり活動したりできるようにする。
担当	推進委員会
いじめへの対応	◇「いじめ防止基本方針」のもと児童指導専任を中心に、全職員で全児童の理解に努め、共通の認識や判断基準のもと指導にあたる。また、丁寧な実態把握に基づく早期発見・早期対応に努め、きめ細かい対応をする。
担当	いじめ防止対策委員会
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	◇経験の浅い教職員の専門性を高めるため、校内・校外の研修へ積極的に参加し、豊かな教養と専門性の向上につなげる◇メンターチームの自主的な活動や重点研を通してお互いに学び合い・高め合う環境を大切にする。◇ミライムを活用して、情報の共有を図るとともに、電子申請システムを活用して事務の簡便化、効率化を図り、働き方改革につなげる。
担当	メンターチーム